

# 園田内閣府大臣政務官の国際原子力エネルギー協力フレームワーク(IFNEC) 第2回執行委員会会合(閣僚級会合)出張報告について

平成 23 年(2011 年)9 月 29 日 於:ワルシャワ工科大学(ポーランド・ワルシャワ市内)

IFNEC第2回執行委員会会合に、園田内閣府大臣政務官、近藤原子力委員会委員長、梶田内閣府大臣官房審議官、中村内閣府参事官等が出席した。会合の結果概要を以下に報告する。会合には、28カ国のIFNEC参加国(正式メンバー国)、17カ国のオブザーバー国、3つのオブザーバー機関の代表が出席した。

## ○各国代表挨拶(概要)

### 園田内閣府大臣政務官

- ・東京電力福島原発事故支援に対する謝意と原子力発電の安全性向上のための取組み強化
- ・「革新的・エネルギー・環境戦略」を来夏目処に策定

### ポーラック副首相歓迎挨拶(ポーランド)

- ・エネルギープログラムは 40 年、50 年という長い年月をかけて取り組むべき課題

### トラヤノフスカ議長(ポーランド経済省)

- ・原子力発電はエネルギー安全保障と低炭素経済を構築する重要な要素
- ・国ごとに事情は異なり、各国に最適なエネルギーミックスを追求する姿勢は尊重されるべき

### ポネマンエネルギー省(DOE)副長官(米国)

- ・WGでの活動を通して、商業ベースの包括的燃料供給サービス(CFS)の構築
- ・原子力プロジェクトにおけるファイナンスは必要

### ビゴ原子力・代替エネルギー庁(CEA)長官

- ・包括的な燃料供給サービスの構築に向けた取組、人材育成に注力



## ○その他の議題

### 東京電力福島第一原子力発電所事故の概要:近藤原子力委員長によるプレゼン

- ・東京電力福島原発事故の経緯、オンサイト対策(使用済燃料プールからの燃料取出し、損傷燃料の取出し等)、オフサイト対策(除染等)に対する基本的考え方と現状を報告

### ポネマン副長官とビルゲイツの対談(ビデオ放送):民間企業は政府に何を望むか

- ・エネルギー分野の研究は複雑で技術革新には時間がかかるが、民間企業の技術革新が期待できる。政府はリスク評価のシミュレーションを行い何が起るか考えることが重要

### 原子力発電所建設時のファイナンス:投資会社によるプレゼン

- ・建設初期に大規模な投資が必要、建設期間が長引くと燃料供給、安全性の問題など複雑性の観点から経済的リスクが上昇。リスク低減のために公的なサポートの追加が必要

## ○共同声明の発出

- ・執行委員会は上記議論を踏まえ、原子力安全の枠組み強化、CFS及び原子力ファイナンスに関する課題の対処等を盛り込んだ「IFNEC第2回執行委員会会合共同声明」を発出



各国代表の集合写真(右から2番目)



近藤委員長による福島事故報告